

〈令和 7 年度医療勤務環境改善モデル支援事業〉

タスクシフト・タスクシェアによる チーム医療・多職種連携推進 による職場環境改善への取り組み

高知県医療勤務環境改善支援センターによる支援期間：令和 7 年 6 月～令和 8 年 3 月

医療法人白菊会 白菊園病院
タスクシフト・シェア推進チーム

病院概要

■ 許可病床数 1 8 7 床

■ (療養病棟 9 3 床 特殊疾患病棟 4 7 床 回復期リハビリテーション病棟 4 7 床)

■ 診療科 内科、消化器内科、循環器内科、整形外科、
■ リハビリテーション科、神経内科、脳神経外科

■ 職員数 2 4 2 名

応募動機

- 令和7年3・4月、当院の看護部門の業務の見直しが病院全体の骨格となると考え、院内で会議がスタートしたが、進みが遅かった。
- 看護部門の業務状況の多忙から「療養上の世話・診療の補助」を中心に本来業務に専念出来る体制を作れるように業務分析・移管・共有を図れる仕組みの構築・助言を専門家からアドバイスを受けたいと考え、応募に至る

活動内容 ステップ1 方針表明

■令和7年8月

病院長から全職員に向けタスクシフト・
タスクシェアを推進し、病院全体の業務改善
を図っていくと発信

活動内容 ステップ2 体制整備

令和7年8月 タスクシフト・シェア推進チームのメンバー決定

【常】

リーダー	病院長
サブリーダー	副理事長
	事務部長
	看護部長
	経理課長
	医事課長

【必要時】

薬剤管理者（薬剤部長）
リハビリ技師長
地連室長



活動内容 ステップ3 現状分析

令和7年8月 現状診断・対策立案シートの作成
【メンバーのゴールイメージの共有】

看護師の本来業務・その他業務の切り分け
切り分けられた業務の必要性和新たな業務担当者の選定
技能実習生の活用



入院患者の早期受け入れ態勢を整備し、病床稼働率のアップを目指す
働き方・休み方の改善から勤務環境の改善を目指す

活動内容 ステップ3 現状分析

令和7年9月

アクションプランシートの作成（5大項目へ分類）

- 対策1 看護師業務負担軽減のために看護補助者の活用推進（技能実習生含む）
- 対策2 看護師が行っている事務的業務のシフト
- 対策3 配薬カート（定期薬）を薬剤部にシフト
- 対策4 看護師が行っている施設管理領域の仕事を施設課へシフト
- 対策5 その他看護師が行っている本来業務外の業務の切り分け

活動内容 ステップ3 現状分析

令和7年10月

職員へ職場満足度アンケートの実施（6項目41問）

- 項目1 働き方・休み改善
- 項目2 健康支援
- 項目3 職場環境（働きやすさ）
- 項目4 向上心
- 項目5 伝達・周知
- 項目5 総合評価

活動内容 ステップ4 目標設定

令和7年10月 目標設定

ミッション
(理念)

個人の人格を尊重し、人間としての尊厳を守り、生きていて幸福であると感じられる良い医療と療養環境を持つ施設づくりを目指します。

ビジョン
(中期的な目標)

職員がいきいきと働き続けることによって、安全で寄り添う医療を提供する

アクションプランを活用し、タスクシフト・タスクシェアの実施と業務見直しを行うことで上記の理念・中期的な目標を達成する

活動内容 ステップ5 計画策定

令和7年11月

アクションプランシートの決定（5大項目）

- 対策1 看護師業務負担軽減のために看護補助者の活用推進（技能実習生含む）
- 対策2 看護師が行っている事務的業務のシフト
- 対策3 配薬カート（定期薬）を薬剤部にシフト
- 対策4 看護師が行っている施設管理領域の仕事を施設課へシフト
- 対策5 その他看護師が行っている本来業務外の業務の切り分け

それぞれの業務所要時間及びタスクシフト・シェア先の
職種選定の確認の実施

活動内容 ステップ6 取り組み実施

令和7年11月～12月

アクションプランシートを活用しタスクシフト・シェアを実施

- 対策1 看護師業務負担軽減のために看護補助者の活用推進（技能実習生含む）
- 対策2 看護師が行っている事務的業務のシフト →一部移管
- 対策3 配薬カート（定期薬）を薬剤部にシフト →移管
- 対策4 看護師が行っている施設管理領域の仕事を施設課へシフト→移管
- 対策5 その他看護師が行っている本来業務外の業務の切り分け→一部移管

活動内容 ステップ7 評価・改善

令和7年11月～令和8年3月

アクションプランシートを活用しタスクシフト・シェアを実施

対策2～5については順調にタスクシフト・タスクシェアが行えた

院長より 対策1について今回のアクションプランシートの肝となる部分であると見解が示され、抜本的に見直してはどうかと提案があった。

病院長からの問題提起

看護師の介護業務領域が多く、技能実習生への介護を含めた教育が不十分であるため十分シフトが出来ず、本来業務の圧迫が見られている。また、病棟間での業務内容が同様の業務でもやり方が違うことがあり、看護師の人事異動後、病棟にコミットするまでに時間を要しているのではないかと

活動内容 ステップ7 評価・改善

令和7年12月～令和8年3月

アクションプランシートを活用しタスクシフト・シェアを実施

病院長からの問題提起に対し、

外国人技能実習生を中心としつつ、看護師・看護助手も含めた
病棟スタッフ全員に対し、リハビリ部門から技術指導を受ける
体制を作ることにした。

活動内容 ステップ7 評価・改善

令和8年12月下旬～令和8年3月

アクションプランシートを活用しタスクシフト・シェアを実施

看護師・看護補助者・外国人技能実習生への介護技術・リハビリ視点について座学・実技研修を実施することで看護師業務負担を軽減するための下地を作る（対策1をさらに細かく分析し実行）

- ①ポジショニングに関する研修
- ②歩行を含む基本動作の理解から患者の移動を介助・見守りで行えるようになる
- ③トイレ動作における患者の動き方を理解し、適切な排泄介助が行えるようになる
- ④整容の必要性の理解及び適切な介助方法について学び、行えるようになる
- ⑤患者の更衣が安楽に行える技術の習得
- ⑥技能実習生の実践が見守り・簡易指示で行えるレベルになる。
- ⑦各病棟での介護技術・リハビリの統一化

活動内容 ステップ7 結果

令和8年4月

下記が成果物として取得できた

各病棟での看護師・看護助手の介護技術の向上（ポジショニング含む）

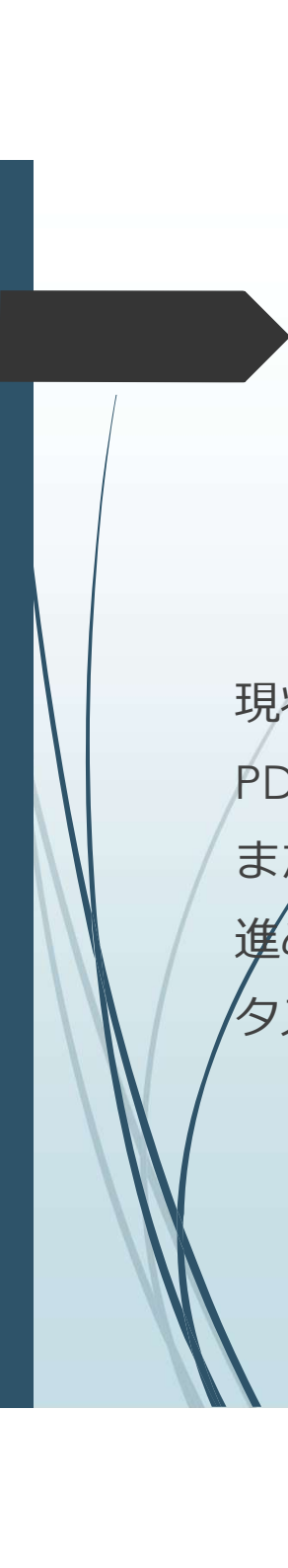
技能実習生の能力向上

職種間の連携の円滑化

業務時間内研修の文化の生成

タスクシフト・タスクシェア達成部分による看護部への負担軽減

トップダウンからのPDCAサイクルの一連の実施方法と進め方



モデル支援事業参加の感想

現状分析シート・対策立案シート・アクションシートというツールを使用し、PDCAサイクルを回しながら業務を見直していく方法は大きな学びとなりました。また、各分野の専門職がアドバイザーであり、1月に1回、アドバイスを頂けたことで進め方の正誤がわかり、方向性を見直しの際にも的確なアドバイスを頂けたことでタスクシフト・シェア推進チームが折れることなく形となったことに感謝申し上げます。